

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 日本パーカーライジング広島工場八本松工場

(2) 事業所の所在地

東広島市八本松飯田二丁目11番13号

(3) 業種

金属熱処理業・その他の金属表面処理業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成22年度から平成26年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

- ・地球環境や地域社会との調和を図り、表面処理加工や交通安全施設事業を通じて、豊かで持続可能な社会づくりに貢献する。

2. 方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・環境にやさしい製品の提供
- ・廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- ・グリーン購入の推進
- ・環境保全活動への積極的な参加
- ・社員へ環境保全意識の高揚を図る

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成21年度	平成23年度
二酸化炭素	—	八本松工場 3829 出島工場 2987 宇品工場 1203 合計 8019	八本松工場 3834 出島工場 3405 宇品工場 1098 合計 8337

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素	—	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—
HFC PFC SF6	—	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂					0
非エネルギー起源CO ₂					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上(百万円)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 21 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 26 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	3,829	467	8.20	5.0	3,638	467	7.79
非エネルギー起源CO ₂	—	—	—	—	—	—	—
メタン	—	—	—	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—	—	—	—
フロン類	—	—	—	—	—	—	—
総排出量	3,829	467	8.20	5.0	3,638	467	7.79
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	—	—	3.38	5.0	—	—	3.21
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・保温材使用による熱効率向上 ・廃油リサイクル ・アイドリングストップ推進
2	電気使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ型電気機器への更新 ・冷暖房温度の適正管理 ・用水使用量の節約
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	京都メカニズムクレジット	65 t-CO2
2		
3		

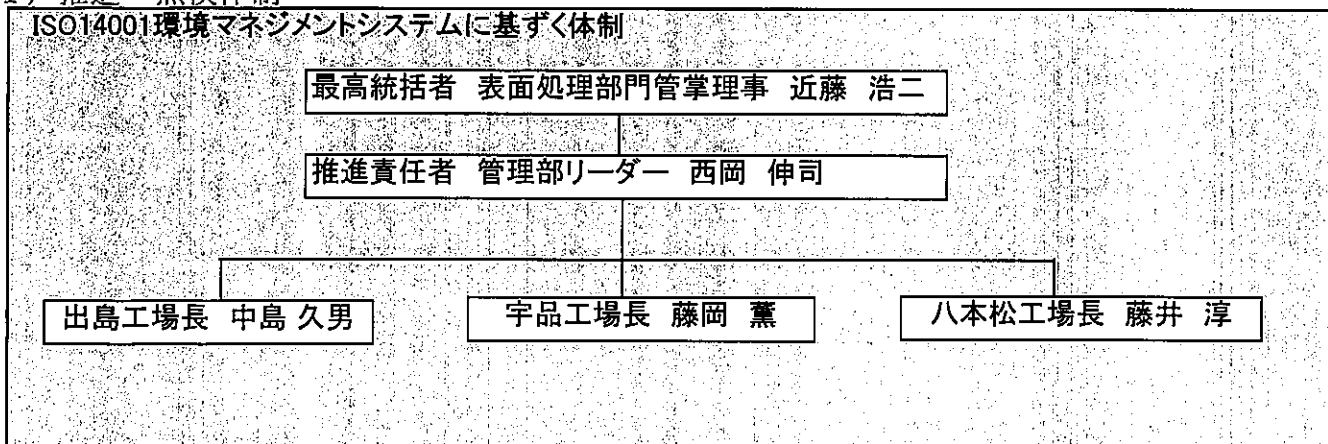
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	—	—	—
2	—	—	—
3	—	—	—

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

4半期に1回、各部門が集まり会議を開催しエネルギーおよびコスト削減状況を点検・評価している。その中の4月もしくは5月に開催する会議においては、1年間の活動を総括し、中期目標に対する評価を行なっている。

さらに、その評価を基に次年度の年間目標を掲げ削減活動を継続的に行なっている。

(3) 計画書等の公表

事業所の備え付けて閲覧する。